

キャンパス彫刻めぐり

九州で初めての大学美術館である九州産業大学美術館。ここには幅広いジャンルの約700点の所蔵品があります。
 実は美術館の中だけではなく皆さんの学ぶキャンパスにも作品が点在していることをご存じですか？
 今回は高田博厚《水浴》と《中村治四郎像》をご紹介します。

九産大や芸術に懸ける思いを語りかけてくれる2作品

美術館がある15号館の「カフェ・デ・ボザール」の横にブロンズの女性像があります。近代日本を代表する彫刻家の一人であり、九産大芸術学部創設に尽力した高田博厚による《水浴》という作品です。

もう一つ、正門に入ってキャリア支援センターに向かう高台にある《中村治四郎像》は、高田博厚と当時芸術学部で彫刻を教えていた教員4人の共同制作によるものです。中村治四郎は、昭和35年に九州産業大学(創設より3年間は九州商科大学)を創設しました。《中村治四郎像》は、開学10周年を記念して昭和46年に建立され、開学55周年を迎えた昨年、お色直しを行いました。「彼(中村治四郎)との友情のしるし」と書き記しており、高田博厚にとっても思い入れのある彫刻であったようです。高田博厚や中村治四郎の大学や芸術に懸けた思いは、これらの彫刻によって、今なお私たちに伝えられています。



《中村治四郎像》

高田 博厚(たかた ひろあつ)
 明治33年石川県生まれ。小説家で彫刻家の高村光太郎などから彫刻を学んだ後、31歳でフランスにわたり、57歳で日本に帰国するまでパリを中心に活動。昭和41年の九産大芸術学部創設に尽力する。昭和53年まで特別待遇教授として彫刻の授業担当。



《水浴》

美術館の催し案内

※入館料は無料です

「東京写真月間2015」 「写真の日」記念写真展2015 加藤庸二展「島一花綵列島」

1月8日(金)～1月14日(木)

6月1日の「写真の日」を記念して、写真の楽しさや記録の大切さを広める写真展の福岡巡回展です。

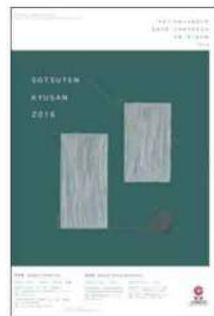


外務大臣賞 ©佐藤一旭「獅子とお話」

平成27年度 九州産業大学 芸術学部・大学院芸術研究科 卒業・修了制作展

1月22日(金)～1月28日(木)

本学芸術学部・大学院芸術研究科の卒業・修了制作を展示します。15号館～17号館、芸術学部アートギャラリーと同時開催です。



美術館基本情報

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日、展示替え期間